

## 平成30年度 第71回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子準決勝

東海大福岡 85

75 県立小林

主審 砂川 卓嗣

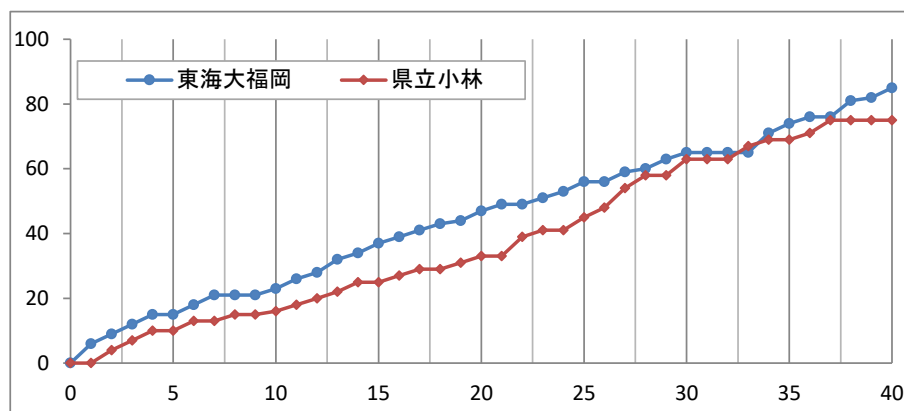
(福岡2位) ○

● (宮崎1位)

第1副審 大久保 好純

第2副審 隈元 ゆみこ

No. 17C1 日時: 2018年6月17日(日) 9:30 会場: 大村市体育文化センター



## 東海大福岡

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	緒方 偲乃	-	-	-	-	-
5	* 内藤 唯	16	4	1	2	0
6	* 藤井 愛理	16	2	2	6	1
7	稲福 七海	3	0	1	1	4
8	* 井浦 菜依	15	0	5	5	2
9	岡崎 桜	16	1	6	1	5
10	* 田代 ゆい	10	3	0	1	4
11	崎濱 琉花 (C)	-	-	-	-	-
12	竹元 琴音	-	-	-	-	-
13	* 米倉 七海	9	1	3	0	3
14	吉末 菜桜	-	-	-	-	-
15	木寺 智美	-	-	-	-	-
コーチ	宮崎 優介					1
合計		85	11	18	16	20

## 県立小林

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 河内 綾 (C)	12	2	1	4	5
5	* 吉元美百合	3	1	0	0	0
6	* 井ノ口なな子	9	0	4	1	5
7	* 財部 舞	2	0	1	0	3
8	* 成崎 結	7	1	2	0	0
9	フェスタガード・ヤ・アマンドラ	14	0	5	4	5
10	老山 花歩	11	3	1	0	2
11	坂本 光奈美	0	0	0	0	2
12	園田 夏菜	0	0	0	0	0
13	吉原 花穂	0	0	0	0	0
14	江頭 璃梨	15	0	7	1	3
15	橋本 佳穂	2	0	1	0	3
コーチ	前村かおり					0
合計		75	7	22	10	28

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

## 戦評

第1Q、東海大福岡はハーフコート、小林はオールコートのマンツーマンでスタート。東海大福岡は速いパス回しから、#8のインサイドや#5の3Pで得点。小林は#9と#7のスクリーンプレーを中心に組み立てる。東海大福岡は積極的なパスカットからの速攻、小林はリバウンドからの速い展開を狙う。東海大福岡は#10の連続3Pなどで23-16で終了。第2Q、小林は#6のジャンプシュートや#9、14のドライブで積極的に得点を重ねるが、東海大福岡はリバウンドやパスカットからの速い速攻で試合の流れを切らない。残り6分、34-25で小林は2回目のタイムアウト後、オールコートからのゾーンプレスで相手のリズムを崩そうとするが、東海大福岡#8や#10の加点により47-33で折り返す。

第3Q、小林は激しいプレッシャーからの攻撃で#6、8、9が得点し、中盤56-45で再度プレスディフェンスを仕掛ける。互いに激しいプレッシャーディフェンスにより、チームファウルによるフリースローが続く。残り3分、小林#10の連続3Pで点差を5点まで縮める。東海大福岡は#6の3P、#7のゴール下シュートなどで引き離そうとするが、小林が粘り強い攻めで、65-63の2点差まで追いついて終了。第4Q、小林はオールコートプレスを継続。残り8分、#4のシュートで同点、さらに#14で逆転する。東海大福岡は#5の3P、#8バスケットカウントで再度逆転するが、その後は、両チームとも互いに譲らず、激しい攻防が続く。残り4分半74-71で小林タイムアウト。残り3分、小林は#9パスカットからの速攻で1点差までつめるが、東海大福岡も積極的な攻めを続け、#5がドライブでファウルを誘うなど連続フリースローで6点差とする。最後まで激しく攻める小林だが、東海大福岡は激しいディフェンスで相手の攻めを防ぎ、85-75で東海大福岡が勝利した。両チームの手に汗握る攻防は、準決勝にふさわしい試合であった。

記載者

横田 昌章

(所属) 長崎県高体連バスケットボール専門部